

もっと豊かに暮らしたい

G-NET じーねっとしが

滋賀県
男女共同参画
情報誌

vol.22

2012 3月号

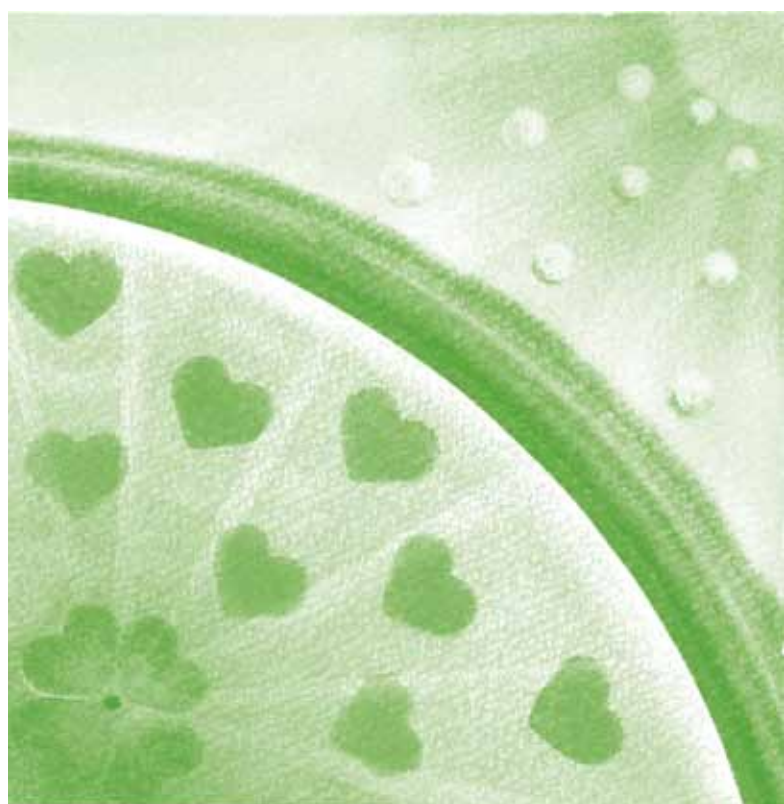
「G-NETしが」とは…

滋賀県立男女共同参画センターの愛称で、「Gender-Network しが」の略。ジェンダー問題を見据えて、男女共同参画のネットワークを広げていこうという思いをこめたものです。

特集

今の恋愛、本当にいい関係ですか？

デートDV考



Satomi♡

デートDV防止啓発冊子& ミニカードを作成しました！



名刺大のミニカードで、
あなたの恋愛チェック！！
DVの説明や簡単な
チェックリストが載っています。
センター受付にしております！
お問い合わせは、
「G-NETしが」までどうぞ

デートDV防止啓発冊子の
お問い合わせは
男女共同参画課へ！

特集 今の恋愛、本当にいい関係ですか？デートDV考



20代の女性のうち5人に1人が、実際に何らかの形で恋人間の暴力(デートDV)を経験したことがあると言われています。今回は、「デートDVについて考える」ために学生と一緒に「恋愛カフェ」等のワークショップに取り組んでおられる斎藤真緒准教授(立命館大学産業社会学部)の「教職員さんかく講座」での講話の中から、いくつかのポイントをご紹介します。



斎藤 真緒 准教授

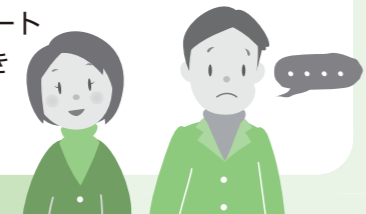
「なぜ、今、デートDVか？」デートDVの背景・・・恋愛と結婚の仕組み

家制度が日本の社会の中で支配的だった段階では、恋愛ではなくて、家のための結婚(お見合い結婚)が主流でした。家制度が廃止されたのは第二次世界大戦以降ですが、お見合い結婚と恋愛結婚が逆転するのは、1970年代です。恋愛結婚の文化は、まだ30~40年の歴史しか持っていないということになります。

また、恋愛結婚が普及した当初は、結婚を前提としたお付き合いがほとんどでした。しかし現在は、「結婚する前にいろんな人と付き合ってみて、より良い相手を探す」という形に変わってきています。若いだけでなく、親世代にもこうした考え方が反映されていることがあります。必ずしも結婚につながらない恋愛が広がってきたことが、恋愛の早期化や若年化と非常に密接に関わっていると考えられます。

男性も被害者に

DVは、主に男性から女性に対する暴力として捉えられてきましたが、デートDVでは、心理的な攻撃という点で、特に、男性が被害者になるケースが高いという調査結果もあります。内閣府の調査でも、20代の男性の約10人に1人はデートDVの被害経験があります。男性も傷つき悩んでいる人がいるということに配慮していきたいものです。



若い世代に「恋愛プレッシャー」の広がりが・・・

学校で一緒に過ごす時間が長い若者にとって、自分に恋人がいるかいないかということが、友人の中で優位性を確保するための一つ的手段になっていることがあります。私たちはこれを「恋愛プレッシャー」と呼んでいます。恋愛それ自体は、他者と深くかかわる非常に貴重な経験です。しかし、「恋愛プレッシャー」の問題は、どのような恋愛がしたいのか、相手との付き合い方についての自分なりの基準を確立することと結びつくのではなく、とりあえず誰かと付き合うことが優先されてしまうことです。「恋人がいないよりは、いる方がまし」「一人だとさびしい」といった動機から誰かと付き合うことも少なくありません。

したがって付き合い方も、いわゆるベタリとかイチャイチャという形容詞がまさにふさわしい、非常に親密度が高い付き合いになりがちです。お互いの意見の違いをコミュニケーションを通じてどのように乗り越えていくか、お互いのプライバシーをどう尊重していくかといった、恋愛関係を築くうえで大事なことが軽視されてしまうと、過干渉や束縛といったDV的な行動を容認してしまう関係が広がってしまう危険性があります。

見えない暴力と携帯電話への依存

DVという言葉を知ると、身体的な暴力のイメージが非常に強いですが、例えば殴られていなくても、つらい思いをしている若い人たちはたくさんいます。DVの種類として、当然身体的な暴力はありますが、それ以外にも、心理的な暴力一言による暴力、性的な暴力、経済的な暴力、社会的な暴力などいろんな形の暴力があります。特に、社会的な暴力は、人間関係を制約したり、活動領域を制限するような行動で、殴られていないから大丈夫だと思込み、非常につらいにもかかわらず、恋愛関係の中に身を置き続けている人が多くいます。

この社会的な暴力をより助長させる道具として、携帯電話などのパーソナルメディアが大きな役割を果たしています。特に若い人たちの間では、友人関係・恋人関係を構築・維持していく上で、携帯電話に対する依存度が非常に高くなっています。携帯電話を使った行動の制限とか、交友関係の制約、こうしたものが非常に加速していると考えられます。例えばメールチェックをする、異性のアドレスを勝手に消去する、また、GPS機能を使って行動を監視する、逐一どこで何をしているのか報告させる・・・、このような「見えない暴力」の広がりが、実は非常に大きい問題をはらんでいると考えます。

見えない暴力の場合、身体的な暴力と違って、気づかぬうちに進んでしまいます。また、いつから始まったのか非常に曖昧です。恋愛がはじまった当初は、お互い楽しく盛り上がり、毎日のようにメールを交換したり、長電話をしたりします。でも、いつの間にか・・・「あれ？ 何でこんなに、息苦しいんだろう。あまり楽しくない」と気がついたときには、既に一方的な関係に陥ってしまっているケースが少なくありません。デートDVというのは、非常にグレーゾーンが多いと言われています。身体的な暴力は痛みを伴い分かりやすく見えやすい暴力なので、暴力を受けた方も、暴力をふるった方も自覚しやすいのですが、束縛や過干渉、人間関係の制限というのは、どこまではOKでどこからがNGなのかははっきりせず、気がつかぬうちに徐々に進んでいきます。

恋愛と携帯電話の密接な関係。たしかに携帯電話は便利で特に若い世代にとっては不可欠なツールになりつつありますが、使い方によっては大きな危険性をはらんでいることに注意する必要があります。



束縛イコール恋愛という思い込み

デートDVを助長する要素として、「束縛=恋愛」という思い込みをしている人たちが非常に多いということが挙げられます。一方だけが、恋人との時間を確保するためにやりたいことを我慢したり、他の友人関係よりも恋人との関係を優先してしまうと、自分がやりたいことや恋人以外の人間関係がどんどん縮小してしまいます。自分の居場所・人間関係を恋人中心に作り上げてしまうと、別れたいと思っても自分一人になってしまうという強い不安感があり、なかなか別れられない関係になってしまいます。

デートDVの発生しやすい要因がいくつかありますが、ジェンダーの問題—男は女をリードしなくてはならない、女は相手を立てなければならぬ—も密接にかかわっています。「おごる」「おごられる」という経済的な関係が、体の関係を正当化させる手段になったり、何でも相手任せにしてしまい、自分の意見をきちんと伝えることをおこ

たっていると、関係のバランスは崩れやすくなります。また、気持ちやコミュニケーションにかかわる問題もとても重要です。相手のことをずっと好きだった場合、相手が自分にとって嫌なことをしたとしても、嫌われたらという気持ちが先に立ってしまい、ノーと言いつらい関係が出来上がってしまうこともあります。相手を好きだという気持ちと、自分にとって嫌なことについてノーということは全く別のことです。また、相手に対する不信感や嫉妬から、自分の感情を上手にコントロールすることができずに、相手を傷つけてしまうこともあります。基本的なことではありますが、相手に自分の気持ちを上手に伝える、相手の気持ちをきちんと理解するということが、恋愛コミュニケーションの土台であることを確認しておくことが大切だと思います。

支援者としての関わり方は・・・

実際にデートDVの被害者や加害者かもしれないと思う若者に接するときは、まず、信頼関係を形成することが大切です。本人が話せるところから徐々に話してもらおうのがよいでしょう。特に被害者になっている場合、「今の恋愛は本当にいい恋愛なのか」ということを、ひとつひとつ紐解きながら一緒に考えてあげることが、大事だと思います。「どんなところが好きなの？」「嫌だと思ってるのは？」「どんな楽しいことがあった？」「つらいことはどんなことだった？」「本当はどんな恋愛がしたい？」「これからどんなことにチャレンジしてみたい？」などを聴きながら、「今の恋愛が自分にとってどういう意味を持っているのか」を一緒に考えていきます。考えたことを書き出すことで、被害者自身が自分の恋愛を客観的に自覚することもできます。自己で考えながら選択・実行をしていくプロセスには、時間がかかりますが、結論だけを急がずに寄り添っていくことが大切です。

暴力を振るっている相手を責めてしまうと、被害者は相手のことを好きなので、かたくなに相手をかばうという心理が当然生まれてきます。加害者の人格を責めるのではなく、自分にとって、その恋愛のつらいところは何かということから自ら認識させていくことが大切です。別れ話をしても説得されて元の関係に戻ってしまうこともあります。しかし、だからといって被害者を責めることは絶対避けてほしいと思います。別れを決意・実行するにあたって、気持ちは大変揺れやすい状態にあるので、恋人以外の人との信頼関係がとても重要です。責めることなく、彼女、彼らの判断を尊重しつつ、それ以外の道はないのかということと一緒に考えるプロセスをぜひ大切にしてほしいと思います。

デートDV防止啓発冊子を作成しました

あなたの恋愛充実度は何パーセント？デートDVの話

県では、男女共同参画社会の実現に向けて、男女間のあらゆる暴力の防止に取り組んでおり、このたび、交際中の男女間における暴力(デートDV)について、正しい知識と理解を深めることを目的に「デートDV防止啓発冊子」を作成しました。

デートDVは、将来、配偶者間でのDVにつながるおそれもあり、これを防止するためにも若い世代が、お互いを認め合う付き合い方や対等なパートナーシップについて学ぶことが大切です。

デートDVの事例を漫画でわかりやすく解説しています。



発行：滋賀県男女共同参画課 冊子の詳しい内容は、県HPに掲載しています。



図書資料室から

「デートDVについて、学びたい人へ…」

『デートDVと恋愛』

伊田広行・著 大月書店 2010年



これまでのDV論に欠けていた恋愛観に関する考察を重視している。デートDV防止教育の意義と問題点を追求し、当事者である若い人たちに理解してもらえような指導法の進め方を提案している。DV研究者や教育者におすすめ。

『デートDVと学校—明日がある』

高橋裕子・編著 エイデル研究所 2010年



著者が実際に対応した生徒たちのデートDVの実態を紹介。そもそも「愛される」「愛する」とはどういうことなのかを被害者、加害者双方に理解させるための方法や学校の対策をまとめている。

『それ、恋愛じゃなくてDVです』

瀧田信之 藤原千尋
WAVE出版 2009年



恋愛における様々な問題ケースを紹介し、デートDVにつながるケンなサインを紹介。見えない暴力やコントロール関係に早く気づき、自身の身を守る為にはどうすればいいか、実践的なアドバイス。

『マンガ雑誌の「性」情報と子どもたち』

NPO法人 シーン・編 2008年



中学生の「性」に関する意識や情報源を調査し、よく読まれているマンガや情報誌の内容を分析した報告書。偏った性の意識や思い込みがデートDVや性暴力につながっている実態など、子どもたちを取り巻く環境について分析している。



図書資料室の利用案内

“G-NETしが”の図書・資料室には、多くの書籍・資料をご用意しております。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

■貸出

本は一人5冊まで(3週間)
ビデオは一人2本まで(1週間)

■開室時間

午前9時～午後5時

■休室日

月曜日・祝休日の翌日・
年末年始・施設点検日

こんにちは、G-NETしが推進員です!

G-NETしが推進員とは…
男女共同参画センターの講座修了生など、地域の男女共同参画の推進に関わるリーダーです。

取材



男女共同参画社会づくり 「副読本モデル授業」を参観して

～東近江市立玉緒小学校～

「クイズをしましょう!」古川先生・北崎先生のお二人による授業が始まりました。

問題を読み上げる先生の声に6年生のみんなは、興味津々。

「父と子が交通事故に遭い、子どもは救急病院で手術を受けることになりました。ところが、お医者さんが「我が子に手術はできない」と言いました。さて、お医者さんは、この子の何?」という問いに考え込む子や、「お母さんの前の離婚したお父さん」と答えるなど、いろんな回答が・・・。

「お母さんだから」の正解も出てきました。でも、「お医者さん=男性」という思いこみのある子が多く、周りの大人や社会の影響で自然にすり込まれている部分もまだまだあることを感じました。

その後、自分の夢についてみんなで語り合う時間が持たれました。職業調べでは、男女の違いをいろんな角度から考え、「職業に男女は関係ない。自分のなりたい夢を持つことはすばらしい」ということをみんなで確かめ合っていました。ここで、ゲストティーチャー、男性保育士が登場し、自分の夢を叶えるために努力してきたことや仕事での喜び等を語ってくださいました。男女に関係なく、自己実現できる社会について、小学生の頃から考える機会を持つことの大切さを感じました。また、授業に向けての先生方の熱い思いが子どもたちにも伝わり、とても有意義な授業であったと感じました。

また、センターでは中学生や高校生向けに「これなら学べる!さんかく出前授業」に取り組み、デートDVなどのテーマを取り上げ、男女の問題を考える授業を提供しています。

これからの社会の担い手である子どもたちに夢を持って、男女が共に協力し合い、支え合うことの大切さを伝えていくことは、男女共同参画社会づくりの大きな推進力となることでしょう。



市・町に向けて発信!こんな取組を見つけました!

◆さんかく実践講座 竜王町会場にて

平成23年12月3日に竜王町松が丘自治会で、「男女共同参画で守る・生きる・地域防災」をテーマに、地域住民によるワークショップと先進自治会から事例紹介がありました。ワークショップでは、自治会の航空写真を見ながら危険箇所を確認し、災害を想定した避難誘導などが話し合われました。また、取組事例の紹介では、日野町上野田区の男女共同参画のまちづくりと栗東市ウイングビュー自治会の防災運動会の取組について紹介され、相互に交流が持たれました。



◆リポーターさんによる手作り紙芝居《東近江市》

市内自治会の方針決定や企画運営についての調査(H19年7月実施)や、市内の高校生向けにアンケートを実施した結果をもとに、子どもの虐待、DV、リボン運動、新しい家族のカたち等について、身近な話題から問題提起と解決に向け啓発しています。参加者の感想は身近な話題でわかりやすいと好評を得ています。



第4期東近江市男女共同参画リポーター(11名)



男&女ア・ラ・カルト

～雑木林で参画を想う～

木の実の色づきは、「果肉が甘く熟しましたよ」という小鳥たちへのシグナルである。どんな生物でも種族の勢力の拡大をはかる。高木たちは、種を風で遠くへ飛ばすこともできるが、背の低い灌木たちは、そうはいかない。種を遠くへ運ぶ方法はないものか、考えたのは、野鳥に運んでもらう方法である。緑の森の中でも、鳥たちに容易に気づいてもらうために、木の実は赤や黄や紫に派手に彩色した。もちろん果肉を甘くして鳥に味を覚えてもらうことも忘れなかった。種は消化されては困るので、鳥の消化酵素に耐える構造にした。実の大きさは、鳥が食べやすい5～8ミリにしたのである。

平成24年1月に国立社会保障・人口問題研究所が行った日本の将来推計人口によると、わが国の人口は、平成22年の1億2806万人から、50年後には、8674万人になるとされている。

自然界の多様な営みに学びながら、子どもが生まれ、育ち、活力ある日本の未来につなげていくには、もっともっと、男女がともにしなやかに生きていけるようにしていくことが大切なのではないでしょうか。

編集後記

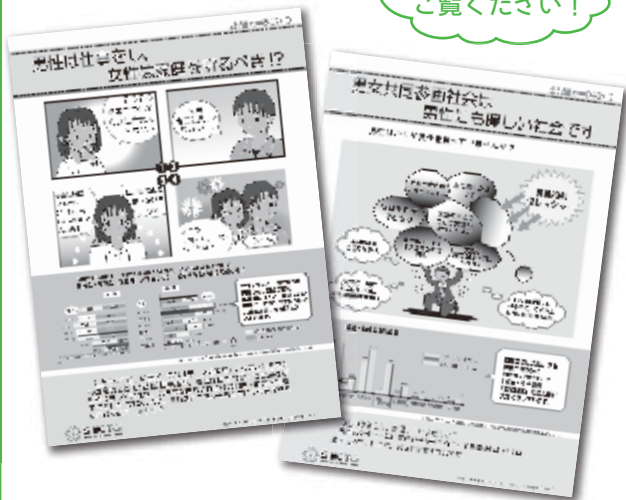
- ・一主婦 世間に取り残されやすい位置の私、編集に関わらせていただき、多くの学びをいただきました。Y. Y
- ・学びました。男と女入れ替えることはできないけれど、手を繋ぐことはできますね。K. N
- ・広報誌に関わらせていただいたことに感謝します。M. F

滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)事業・講座のご案内

◆さんかく塾生有志グループによる「湖夢ニュータウン」パネルができました!

好評貸し出し中

詳しくは、センターHPをご覧ください!



滋賀マザーズジョブステーション

～“自分探し”から“就業”まで～

無料相談

ママや、働きたい・キャリアアップしたいあなたを力強くサポートする女性の就労のためのワンストップの窓口です。就労に向けたカウンセリングや仕事と子育ての両立支援相談をはじめ、ハローワークコーナーもありますので、ぜひお気軽にご利用ください。

※祝日も相談できます(ハローワークを除く)
※相談の際の無料託児有り(予約不要)

◆総合受付 0748-36-1831

◆利用時間 9:00～17:00

※ハローワークマザーズコーナー
[昼休憩12:00～13:00]
(センター休所日、祝日を除く)



★女性のためのチャレンジ相談★

無料相談

専門の相談員が、再就職やキャリアアップ、起業、NPO活動などチャレンジしたい女性へのアドバイスや情報提供などを行います。(要予約)

〈相談日〉毎月第2木曜日 9:00～、10:00～、11:00～

毎月第4土曜日 13:30～、14:30～、15:30～

まずはお電話ください(TEL 0748-37-3751)

※無料託児有り 5日前までに要予約

男女共同参画相談室

無料相談

「女だから・・・男だから・・・」と差別された。夫やパートナー、恋人からの暴力、夫婦間の問題、セクハラ・パワハラなど、一人で悩まないで、まずは、お電話下さい。

・秘密は厳守します。

◆相談専用電話 0748-37-8739

◎総合相談・カウンセリング

火・水・金・土・日曜日 9:00～12:00
13:00～17:00
木曜日 9:00～12:00
17:00～20:30

◎男性相談(面談)

土曜日 13:00～17:00

◆法律相談(要予約)

※無料託児有り 5日前までに要予約



★G-NET シネマ★

参加無料

～毎月1回金曜日上映しています★

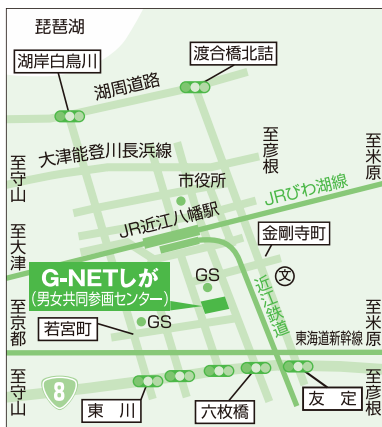
*はるのシネマ「エア・パディ」

3月30日(金) 13:30～

定員: 80名(要申込)

※無料託児有り
5日前までに要予約

◎小学生低学年以下は保護者同伴のこと。



G-NET しが
滋賀県立男女共同参画センター

JR近江八幡駅下車南口より500m(徒歩10分)
または近江八幡駅南口から近江バス
『男女共同参画センター』下車

G-NETしが

滋賀県男女共同参画情報誌
vol. 22 2012 3月号

発行日/平成24年3月27日

編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター
〒523-0891

滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4

TEL 0748-37-3751

FAX 0748-37-5770

E-mail ct30@pref.shiga.lg.jp

H P http://www.pref.shiga.jp/c/g-net/

【開所時間】午前9時～午後9時

【休所日】月曜日・祝休日の翌日

年末・年始・施設点検日